

平成28年第2回

遠軽町議会定例会会議録（第2号）

平成28年3月9日（水）午前10時00分開議

◎本日の会議に付議した事件

会議録署名議員の指名について

日程第32

一般質問

◎出席議員（16名）

議長	18番	前田篤秀君	17番	杉本信一君
	1番	今村則康君	2番	岩上孝義君
	3番	佐藤昇君	4番	稲場仁子君
	5番	奥田稔君	7番	黒坂貴行君
	9番	岩澤武征君	10番	阿部君枝君
	11番	山谷敬二君	12番	松田良一君
	13番	竹中裕志君	14番	秋元直樹君
	15番	高橋義詔君	16番	一宮龍彦君

◎欠席議員（0名）

◎列席者

町長	佐々木修一君	教育委員会 委員長	新山史賢君
代表監査委員	村瀬光明君	農業委員会 委員長	新国純一君

◎説明員

副町長	広井澄夫君	総務部長	加藤俊之君
民生部長	松橋行雄君	経済部長	鈴木光男君
経済部技監	中川原英明君	総務課長	舟木淳次君
企画課長	佐藤祐治君	財政課長	大堀聡君
商工観光課長	伊藤雅彦君	生田原総合支所長	平間敏春君

《平成28年3月9日》

丸瀬布総合支所長	只野博之君	白滝総合支所長	荒井正教君
会計管理者	小野寺健君	教育長	河原英男君
教育部長	寒河江陽一君	教育部総務課長	大貫雅英君
監査委員事務局長	伯谷和昭君	選挙管理委員会事務局長	伯谷和昭君
農業委員会事務局長	河本伸二君		

◎議世事務局職員出席者

事務局長	安江陽一郎君	事務局主幹	渡邊亮司君
庶務・議事担当係長	小玉美紀子君		

◎開議宣告

- 議長（前田篤秀君） ただいまの出席議員は16人です。
定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。
-

◎会議録署名議員の指名について

- 議長（前田篤秀君） 本日の会議録署名議員には、会議規則第125条の規定により、黒坂議員、竹中議員を指名します。
-

◎日程第32 一般質問

- 議長（前田篤秀君） 日程第32 一般質問を行います。

一般質問は、再質問より質問者の質問時間を30分以内として、一問一答により行います。

通告の順により発言を許します。

通告1番、佐藤議員。

- 3番（佐藤 昇君） ー登壇ー

通告書に従いまして、私のほうから1点だけ質問いたします。

町観光のPRと将来を見据えた取り組みについてということでございますけれども、北海道新幹線の開通を間近に控えております。道南地域を中心に、北海道観光に対する期待が高まっているということが随分報道や何かでもされています。国内だけにとどまらず、海外からの観光客の増加をどう図っていくのかという戦略が、町にとっても今後ますます重要になってくるというふうに思います。

そうした観点から、将来を見据えた中で、次の2点について町長の考え方について伺いをいたします。

一つ目として、遠軽町のPR、観光のPRなど、町のホームページの果たす役割は重要な位置づけを占めるという視点から、例えばホームページに四季折々の季節に合った動画を配信したり、また多言語に変換できるようにするなどの改善、充実を図る考えはないでしょうか。

二つ目として、観光協会などとも連携をしながら、通訳のできる観光ガイドの育成を図るなどの体制づくりを行う考えはないでしょうか。その2点について伺います。

以上です。

- 議長（前田篤秀君） 佐々木町長。

- 町長（佐々木修一君） ー登壇ー

佐藤議員の町観光のPRと将来を見据えた取り組みについての御質問にお答えをいたします。

まず、1点目の町のホームページに関してであります、町のホームページは1日平均900件以上、多いときでは2,000件以上のアクセスがあり、町の行政情報はもとより遠軽町の顔となる重要な情報媒体であると認識しております。

そこで、四季折々の季節に合った動画を配信したり、また、多言語に変換できるようにするなどの改善、充実を図る考えはないかとの御質問であります、動画の配信につきましては観光PRにおいて文章や写真では伝わり切れない雰囲気を知る非常に有効な方法と考えますので、関係団体や関係機関との連携及び一般の方の動画投稿を活用するなど、効果的な配信方法及び配信内容を検討し、今後取り組んでまいりたいと考えております。

また、ホームページの多言語変換につきましては、近隣市町を初め多くの自治体が行っているところであり、また、海外からの誘客を促すためにも導入方法を検討し、今後取り組んでまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、より多くの方に喜んでいただけますよう利便性が高く、遠軽町を広くPRできるホームページとして、今後もより一層の充実を図ってまいりたいと考えておりますので、御理解をお願いいたします。

次に、2点目の通訳のできる観光ガイドの育成を図るなどの体制づくりを行う考えはないかとの御質問についてであります、本年3月26日の北海道新幹線の開業、さらには2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されるのを機に、全国各地や海外からも多くの観光客が北海道へ訪れることが期待されておりますことから、国内外を問わず観光客の受け入れ体制の整備は喫緊の課題と捉えております。このため、観光協会とも連携しながら、国内観光客向けの観光ガイドの育成とネットワーク化を図るべく、体制づくりに向けての取り組みを進めているところであります。

一方、新年度におきましては、道立北見高等技術専門学院の主催により、観光施設の職員や宿泊事業者、交通事業者等を対象とした能力開発セミナー観光ビジネス科の訓練科目が計画されているところであり、その中のカリキュラムの一つとして、観光英会話演習などが予定されているところであります。

以上のことから、現在、町と関係機関で進めている観光人材育成事業の一環として、観光通訳ガイドの養成を検討していくとともに、道の能力開発セミナーとも十分連携を図りつつ、受け入れ体制づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、御理解をお願いいたします。

○議長（前田篤秀君） 佐藤議員。

○3番（佐藤昇君） 今の町長の1点目、2点目の答弁を聞いておりますと、得に再質問をする必要もないのかなというふうに思いますが、ただ、私のほうも用意しておりますので何点かちょっと聞いてみたいと思っています。

ホームページの関係なのですが、私も議会の関係とか例規とか見たり、そういうことなどもあってたまに見るのですけれども、町長の話だと900から2,000件ぐらい1日にあるというお話でした。これは、恐らく役場の担当のほうでいろいろと苦勞をされてつ

くられているのだろうかというふうに思います。例えば、遠軽の歴史ストーリーとか、こういったものも入っておりますけれども、アクセスの回数も見たらわかりますけれども324万幾ら出ていますね、画面の下のほうに。美幌のほうを、ちらっとたまに見てみたのですけれども160万回。年数も違うのかもしれませんが、倍以上見られているということで、そういう意味では非常に担当のほうも大変な努力をされているのだろうかということで、ある意味では敬意を表したいなと、こんなふうに思っています。

そこで、1日の件数とか町長のほうからも言われましたけれども、参考までにお聞きしたいのですが、年間のは出ていますか。町長も今、900から2,000ということをおっしゃいました。例えば、年ごと、年度ごとでもいいのですけれども、参考までに1年間の年度ごと、1年のトータルの過去の推移みたいなやつ、そういったものがもしわかるのだったら、ちょっとお教え願いたいなと思うのですが。

○議長（前田篤秀君） 佐藤企画課長。

○企画課長（佐藤祐治君） ただいまの御質問にお答えしたいと思います。

町のホームページにつきましては、合併の平成17年10月、合併時には既に運用を始めておりまして、現在まで3回ほどホームページのリニューアルをさせていただいて今日に至っております。

17年度、初年度につきましては、件数ですが11万1,876件でございます。18年度27万4,056件、19年度28万5,637件、20年度31万8,333件、21年度32万46件、22年度35万8,149件、23年度32万8,851件、24年度35万2,058件、25年度32万4,667件、26年度30万9,546件、27年度につきましては、昨日現在31万3,265件ということで、30万件から35万件ということで推移してございます。特に減少傾向にあるというわけではなく、年度によって上下があるということで御理解いただきたいと思っております。

1日900件、それから多い日で2,000件ということで町長からもお話しさせていただきました。多い日というのは、特に災害が起こったときにやはりアクセス数が多いという傾向にございますので、お知らせしたいと思っております。

以上でございます。

○議長（前田篤秀君） 佐藤議員。

○3番（佐藤昇君） それで、今お聞きしますと、大体年間でいけば同じような数字で推移をしているということで、当然、町長の答弁なども聞いておりますと、あるいは担当の考え方もそうだと思いますけれども、これで恐らく満足はしていないのだろうかというふうに思うのですが、その辺の考えはどうでしょうか。これからもっと増やしたいと思うのか、現状でやむを得ないなと思っているのか、その辺の認識はどうなのでしょうかね。

○議長（前田篤秀君） 佐藤企画課長。

○企画課長（佐藤祐治君） ただいまの御質問にお答えしたいと思います。

先ほど町長からも答弁ございましたように、これから海外からの誘客等の部分を含め

て、より多くの方にご覧いただきたいという部分で考えております。

現在、状況から申し上げますと、今、担当の者が専門的にホームページを扱っております。近隣町村におきましては、委託にかけて年間100万円ほどのメンテナンス料を払って行っている部分があるのですが、本町におきましては担当の自助努力で行っているという部分でやっているところがございます。その中で努力させていただきましてやっているところがございますので、今後もより皆さんに喜ばれるようなホームページということで頑張っていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（前田篤秀君） 佐藤議員。

○3番（佐藤 昇君） それで、私が細々言う必要はないと思いますけれども、いずれにしてもいろいろな角度で、一般の方のお話も聞きながら効果的に取り組むということですので、ぜひこれからどんどんと増えていけるように、ぜひ私のほうとしても期待をしたいなど、こんなふうに思っています。

2番目の関係については、特に町長の答弁を了として受けておきたいなというふうに思いますけれども、実は1か月ほど前に札幌に行くのにJRを利用したのですけれども、私もちょっと認識不足だったのですけれども、中国人の方ばかりなのですね、乗っていらっしゃるの。たまたま帰りの列車の中に前田議長もいたのですけれども、何とか遠軽にその方に降りてもらって、何とか遠軽にとどまってもらうことができないかどうかというふうに率直に思ったのですよね。

いずれにしても、そんなことも含めて、これから町のムードづくり、雰囲気づくり、そういうものを含めた体制というものをやっぱりしていかなければいけないのかなというふうに思いますけれども、そこら辺のところの考え方があれば最後にお聞かせいただいて終わりたいと思います。

○議長（前田篤秀君） 佐々木町長。

○町長（佐々木修一君） 今、日本にすごい数のインバウンドで外国の方が来ているというのは、皆さん、議員も御承知のことだと思ひまして、私も出張に行っても、札幌へ行くJRでも本当に外国の方がびっちり、それから東京に行っても、札幌もそうですけれども、ホテルもなかなかとれない。そして、町を歩いても、びっくりするぐらいの外国の方が来ているというのは、これは事実でございます。これをいかに私の町に呼び込めるかということが、やっぱりこれが一番重要なことでありまして、これをみすみす来ているものを、大体、遠軽の駅に降りないで、そのまま知床のほうとか、紋別に行く人は流氷とか観られているようです。やっぱり、そういったものを少しでも呼び込むということが非常に重要なことだと思ひまして、このことについては以前から担当のほうにも指示を出しまして、観光協会とも連携しながらやっていかなければいけないということで、今、進めているところでございます。

先ほど私、オリンピックの話もしました。新幹線のほうは、新幹線の効果で果たして函

館までで、我々のほうまでどういう効果があるかちょっと見えづらい面もありますけれども、少なくとも東京オリンピックまでは相当な数が来るのは間違いないというふうに思います。ただ、こういったものも全てがいつまでも永遠に、何でもそうですけれども右肩上がりというのではないですから、東京オリンピックが終わったら若干落ちるのかもしれませんが、そういった中で、とにかくスピード感を持って今の流れに少しでも乗れるようなことをやっていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（前田篤秀君） 以上で、佐藤議員の質問を終わります。

以上をもって、一般質問を終わります。

暫時休憩します。

午前10時15分 休憩

午前10時51分 再開

○議長（前田篤秀君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩中に予算審査特別委員会が開催され、委員長に今村議員、副委員長に阿部議員が選出されましたので、御報告いたします。

◎休会の議決

○議長（前田篤秀君） お諮りします。

3月10日から3月14日までの5日間は、予算審査及び休日のため休会にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（前田篤秀君） 異議なしと認めます。

したがって、3月10日から3月14日までの5日間は、休会とすることに決定しました。

◎散会宣告

○議長（前田篤秀君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日は、これをもって散会とします。

午前10時52分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 前 田 篤 秀

署 名 議 員 黒 川 肇 行

署 名 議 員 所 中 裕 志